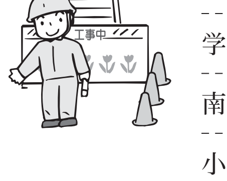
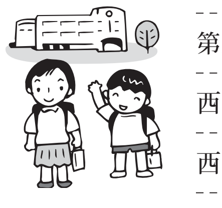
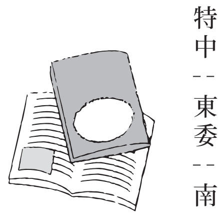
平成25年度予算に活発な議論

予算特別委員会等での審査

平成25年度予算の主な新規事業等（単位：千円）

市議会本会議のインターネット配信	872
行政無線デジタル化基本・実施設計委託	10,374
ヘリサイン（救助や物資運搬の際の目印）塗装工事	1,500
認証保育所運営費補助金（ぽけっとランド南沢）	101,743
湧水マップ作成	500
第六分団消防団詰所用地購入及び設計	29,367
学校図書館司書配置事業	5,000
南町小学校大規模改造工事設計委託	12,500
小学校給食棟６校の耐震診断委託	12,400
第五小学校用地購入費等	183,702
西中学校校庭芝生化工事設計委託	4,800
西中学校防球ネット設置工事	18,000
特別支援学級教室整備工事（久留米中学校、西中学校）	118,500
東久留米市立図書館地区館指定管理委託	104,294
南町運動広場防球ネット拡張工事	12,000

総務費

事業仕分け

質問　年代や性別の均衡を図るため、公募委員の選出方法を検討すると述べているが、無作為抽出で選出する考えは。また女性委員の枠を設ける考えは。

答弁　委員には仕分け作業にかなりの時間を割いていただくことになる。はたして協力を得られるか。また、当日のやりとりを聞いて判定を下す方法もあるが、短時間の中でどれだけ個別の事業に対して理解を深められるかなど、さまざまな問題がある。このため、無作為抽出の方法をとる考えはない。女性の枠の確保については先例を調査する。

男女平等推進センター

質問　男女共同参画事業について、①男女平等推進センターを市役所内へ移設する考えは、②相談業務の充実に向けての取り組みは。

答弁　夜間の事業の開催や、保育スペースとプライバシーを守れる個室相談室の確保には現在の施設が適していると考える。②庁内連絡会議を設け情報交換と対応を図り、調整を行っている。

防災訓練

質問　実効性ある避難所単位の訓練を行う考えは。

市長　避難所運営マニュアルに基づく訓練を計画したいと考えている。総合防災訓練はより多くの方が参加できるよう、これまでの夏の開催から秋の土曜日に開催できるよう、防災会議に検討をお願いする。

質問　防災訓練会場原状回復費が300万円の増となっているが、内訳は。

答弁　滝山球場を会場として計算している。これまでの学校校庭と比べ面積が増え、雑草が生えており、整備費が増えている。

地域防災計画

質問　避難所の運営について、①乳幼児を抱えた世帯の避難先として市内の保育園を避難所とする考えは、②ペットを同伴できる避難所開設の考えは。

答弁　①避難所協定を結べるよう努力する。②避難所運営マニュアルに取り込む考えだが、ペットに関してはさまざまな考えがあり、市民の皆様のご意見を伺いながら進めていく。

民生費

認可外保育施設保護者助成金

質問　認可外保育施設保護者助成の財源は。

答弁　今年度は歳入事項を総動員したなかで確保しているが、来年度は経常歳入での補助継続は難しい。

質問　保育料の改定分を助成の財源とする考えは。

市長　保育料の見直しと認可と認可外との不公平感の是正は別であり、保育料の値上げを助成金の財源とするものではない。

児童館の新設工事

質問　くぬぎ児童館の閉館や旧大道幼稚園の今後について説明会の行う考えは。

答弁　説明会については実施方法を検討したい。

質問　下里作業所の近隣には青少年センターがすでにあり、周辺には準工業地帯がある。児童館の移設場所として適切と考えるか。

市長　子育て支援施設の空白地域を解消するため、候補地を民有地等も含めて探したが適当な土地がなく、施設の規模に耐えられる作業所を候補地とした。

質問　第一種低層住居専用地域である旧大道幼稚園園庭に自転車置き場や、倉庫、作業所等の移設は可能なのか。また、近隣の理解は得られているのか。

答弁　多くの課題があり、ハードルも高い。用途地域の制限もあるなかで進めていかなければならず、関係機関と調整しながらクリアしていきたい。

みなみ保育園引継保育業務

質問　ひばり保育園の引き継ぎ時の予算は約１５１７万円で決算は１０６３万円であった。今回の約１９９３万円の予算の見積もり方法は。また、3月に園長候補者は土日を除く毎日引き継ぎに当たるとあるが、他市の市議会議員である現候補者が履行可能なのか。約80万円の給料は妥当か。

答弁　公募要項の内容に、さらに手厚い引き継ぎ条件を示し、法人から得た見積もりを計上した。

市長　頂いた見積もりに従い、しっかりと引き継ぎに向けて取り組んでいただきたいと考えている。

衛生費

最終処分場見学会

質問　見学会の目的と目指す効果とは。

答弁　リサイクルに多額の経費が掛かっている現状の説明を行うなどしながら、処分場の長期的有効活用を考えることを目的としている。最終処分場と各家庭におけるごみ減量対策を直接結びつけて考えることで、家庭ごみ減量の動機づけの一つになると考えている。

質問　見学先の二ツ塚処分場の埋め立て容量の近年の推移と今後の見込みは。

答弁　ここ数年は44・4%から44・5%で、ほぼ変わっていない。エコセメント化により埋め立ては行っていないため、今後も大きく変わる見込みはない。

ごみ対策課庁舎建て替え

質問　庁舎リニューアルの際にリサイクルコーナーなどの機能を置く考えは。

答弁　リサイクルは環境行政で一番大事なところであり、関係部署と連携しながら検討する。

質問　下里の資源選別場の売却益は庁舎建て替えの予算として積み立てるのか。

答弁　資源選別場の売却収入は約１億１３００万円であるが、繰上償還後に残る約３５００万円は25年度の歳入に組み入れている。建て替えの予算は予算全体の中で考える。

商工費

商店街調査委託

質問　商店街調査委託について、①調査の内容と時期は、②結果を受けての対策は。

答弁　①大型商業施設開店後、影響を受けるであろう商店街を対象に来街者へのヒアリング調査や、商店街の状況調査を実施する。実施時期は平成26年1、2月を想定している。結果を見て国や東京都の補助金等を活用したい。

市長　②実態を把握することで今後の商店街振興の役に立てていきたい。

土木費

市内公共交通調査分析事業

質問　地域公共交通に関しては、「地域公共交通の充実に向けた検討報告書」がすでに作成されている。事業の目的は何か。

答弁　市民の移動状況や公共交通への要望の調査とデータ化が調査の狙いである。

質問　任期中のコミュニティバスの実験運行は財政状況を鑑み断念すると述べながら、なぜニーズ調査が必要か。

市長　地域公共交通の充実のために、まずニーズ調査をさせていただき、次のステップにつなげたい。

私道整備助成

質問　20年度から3年間私道整備は凍結され、23年度から再開されたが市長の判断なのか。厳しい財政状況の中、凍結する考えは。

市長　明確な計上の基準はわかりかねるが整備の要望があり、解決されない状況で判断したものである。

民間自転車等駐車場建設費助成

質問　助成の対象の自転車等駐車場の有無は。また、補助の上限額はいくらか。

答弁　申し込みはまだない。補助金額は建設費総額の2分の1であり、上限額は500万円である。25年度は100万円の予算の範囲内とし、今後、需要が出てきた段階で予算の確保を図りたい。

質問　自転車等駐車場整備基金の処分規定を見直し、対応する考えは。

答弁　基金には東西に1カ所ずつの駐輪場を設けるという目的があり、基金条例を改定する考えはない。

交通安全対策

質問　イオンモール東久留米が開店を迎えるが、第五小正門前の信号機のない横断歩道の安全対策は。

答弁　正門前の横断歩道は消去し柵を設け、西側に横断歩道と信号を設置する。

教育費

学校図書館司書配置

質問　司書の配置を業務委託にした理由は。

答弁　嘱託員による直営と業務委託の費用試算を比較検討した結果である。

質問　資料によると司書を7校に週2日配置し、主任司書が13校を巡回する設定で予算が試算されているが、日数を減らし対象校を増やす考えは。

答弁　計画では13校に配置を予定していたが、予算は7校分となった。週2日の配置は最低限必要と考えている。今後は配置校の拡大を目指し、学習面での効果を検証しながらより良い配置を検討する。

防球ネット工事

質問　南町運動広場の土地の借り上げ期間と防球ネット工事の詳細は。

答弁　1年ごとの契約更新である。ホームランのボールがフェンスを越え、民家の瓦を損傷する事故が発生した。工事は今ある約10㍍の高さのネットに新しく支柱を建て、2面に約5㍍のネットを継ぎ足すもの。

質問　西中学校の防球ネット工事の詳細は。

答弁　校庭から遊歩道にボールが飛び出すのを防ぐため、遊歩道側に高さ10㍍、170㍍幅のネットを新設するもの。

予算案に対する各会派の意見表明・予算討論（要旨）続

日本共産党

いのちとくらしを守る組み替え案

東日本大震災から2年がたったが、被災者の皆さんの命とくらしは今なお脅かされている状況である。真の復興に向け、でき得る支援の継続を誓うと同時に、わが市の防災対策をさらに強化していく必要がある。

平成25年度予算に突如くぬぎ児童館の廃止が盛り込まれたが、市民不在のこのような進め方は許されない。

また、みなみ保育園引継保育業務委託予算の中身は現職員に相談もなく、法人の要請をそのまま計上したものである。いったん立ち止まり、保護者と協議し、3者協議で内容を十分議論して進めていくべきである。

国において消費税増税、社会保障の切り下げが進められようとしている中、高齢者が安心して生活できるよう、また、子どもの命を社会全体で守り、伸び伸びと育っていけるように市としてできることをすべき。

イオンモール東久留米が開店を迎えるが、近隣住民の交通安全対策等への不安は全く解消されていない。

平成25年度予算は、財政が厳しいとしながら新規事業は精査不十分なものもあり、結局、市民負担を強化する方向となっている。

以上の理由から、①（仮称）北部地域児童館新築工事に伴う基本・実施設計委託②みなみ保育園引継保育業務委託の公募要項で規定されていない上乗せ部分③商店街調査業務委託④用途地域等変更計画策定業務委託のうち、南沢地区地区整備計画策定業務委託を削除⑤市独自の小・中学校学力調査を中止し、これらの5項目から生み出される財源を①くぬぎ児童館の耐震補強設計の実施②木造住宅耐震改修助成の実施③家具転倒防止器具助成の実施④後期高齢者医療健康診査の自己負担廃止⑤子ども議会の開催に振り向け、残額を財政調整基金に積み立てることを提案する。

一般会計予算の修正案については、具体的な内容の一部は賛同できるが、認可外保育施設保護者助成、地域公共交通ニーズ調査、私道整備助成や学校図書館司書配置は必要と考え、修正案には反対する。

値上げが含まれる国民健康保険特別会計予算案、下水道事業特別会計予算案は、厳しい経済状況の下で公共料金の値上げを同時に進めることは避けるべきであり反対する。その他の特別会計予算案には特に意見を付すことなく賛成する。

市議会民主党

市長提案予算大幅修正

平成25年度予算案は、臨時財政対策債の発行可能見込限度額までの発行や、市有地売却への依存、財政調整基金の大幅な切り崩しなど財政規律が完全に破綻した予算であり、プライマリーバランス（基礎的財政収支）は借入見込額が元金償還見込額を約2億8千万円上回る状況に至っている。

しかし、市長の示した施政方針からは今後の厳しい財政見通しに対する財政再建の道筋が一向に見えない。行財政改革について問うと、改革項目を見いだせないとの答弁である。行財政改革に新たな具体的取り組みが見いだせないということは、あまりにも財政危機の意識に欠け、今後の財政再建を大きな課題とする市政運営に対し無責任である。

このような無責任な姿勢が25年度の予算案において、財政規律を大きく崩しながらも新規や政策経費を抑制できない原因ではないか。

このたび提案された修正案は財政危機の中、新規政策経費の一部を延期できるものは延期し、再考すべきものは再考し、削減すべきものは削減するという選別を実践し、プライマリーバランスを堅持しており、極めて当然の判断である。

修正案により約4億円の財源を確保し、プライマリーバランスを維持することができる。それぞれの個別事業は単純に削減しただけではなく、進め方や考え方の再考を前提に延期や段階的な実施を示唆するものである。

市政運営が真に厳しい時期を迎えるのはこれからであり、市民の皆様に財政の非常事態について、深い理解を求め財政再建への協力を呼び掛ける必要がある。

議会による予算の修正は市長に対するメッセージであり、市長はこれを真摯に受け止め市政運営に対する危機感を共有し、議会からのさまざまな提言を実行に移すことを強く要望し一般会計予算修正案に賛成する。

なお、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道事業特別会計予算案には特に意見を付すことなく賛成する。

社会・市民会議

一般会計予算案に対する賛否が会派の中で分かれたため、社会・市民会議は意見表明を行えなかった。

久留米ハートネット

将来のこども達への負担を出来るだけ減らすために

4月23日にイオンモール東久留米がオープンする。イオン反対を掲げ当選した馬場市長が公約違反に対する市民の審判を受けることなく、この日を迎えることは残念。選挙に勝ちさえすれば、当選後は何をしてもいいということになれば民主主義は崩壊する。市長の任期は平成26年1月までだが、公約違反状態のまま任期を満了すべきではない。

平成24年度一般会計予算案は4度の否決、そのたびに市長の辞職勧告決議が可決されているが、市長はその責任を何も取っていない。

平成25年度一般会計予算案は過去最大規模。増大した歳出を臨時財政対策債の満額発行、財政調整基金約9億円の取り崩し、財産売却収入約7億円で補っている。このような歳出増大予算はとても認められない。本来であれば反対すべきだが、予算委員会で委員側から修正の提案があった。歳出を出来るだけ抑え、プライマリーバランスを改善するのが目的であったので、この修正案に賛成した。馬場市長は予算を否決されても反省することもなければ、議会の意見を聞くこともない。反対ではなく、修正という形で議会の意志を示すべきと考え、一般会計予算修正案に賛成する。

値上げを伴う国民健康保険特別会計予算案、下水道事業特別会計予算案には反対し、その他の特別会計予算案には特に意見を付すことなく賛成する。

ネットワークひろば

中長期的展望に立つ市政運営を

平成24年度一般会計予算は3カ月を残しながら専決処分され、今議会初日に処分は不承認となった。執行された予算には賛成をしているが、専決処分という判断自体には問題がある。

こうした中平成25年度予算が編成されたが、歳入に対し歳出が大幅に超過、超過分は財産収入、財政調整基金取り崩しや臨時財政対策債等により補われている。

このような歳入構造の予算編成は現年限りのものであり、26年度以降の予算編成に向けても問題がある。臨時財政対策債は後年度に交付税算入することにはなっているが、結果として財政の硬直化を招くことになり、借り入れるとしても最低限に抑制すべきである。

歳入が減少している中、次年度から経常経費となる新規事業の開始には慎重にならざるを得ない。

みなみ保育園の引き継ぎに関する経費の見積もり方法には精査が必要である。

また、商店街調査業務委託については事後調査のみであり、比較対象が無く目的があいまいである。

保育園の認可と認可外の格差是正、学校図書館への司書配置、第五小の用地買収は子どもたちの環境整備に関わることでもあり、財源確保に向けて努力が必要である。

よって、一般会計予算については修正案に賛成し、その他の4特別会計予算案には特に意見を付すことなく賛成する。

みんなの党

市長‼子どもにツケをまわすな‼

平成25年度一般会計予算案は多くの市有地の売却、財政調整基金の取り崩し、臨時財政対策債を限度額まで借り、多くの新規事業を計上した過去最大規模の予算である。プライマリーバランス（基礎的財政収支）は大きく崩れてしまった。

少子高齢化の影響で民生費は増加し、個人市民税等の歳入は減少しているが、多摩26市の中には、さまざまな事業を削り、予算規模を抑え、臨時財政対策債の発行額を抑制している市もある。果たして馬場市長はどのような努力を行ったのか。

認可外保育施設の保護者助成金は近い将来に行うべきであるが、保育料の適正な負担のあり方の検討が中途半端なままであり、財政状況を無視した予算案には反対し、修正案へ賛成する。

その他ごみ対策課庁舎の建て替えや学校図書館への司書配置など多くの事業を修正する案には財政状況を考え断腸の思いで賛成する。

市議会はこれ以上借金を増やさない、子供に付けをまわしてはならないという強い思いから、非常に厳しい決断を行った。

事業の選択と集中という言葉は、今回の予算案のような財政状況を無視した予算案ではなく、本当の覚悟をもって事業の選択をした後で使うべきである。

よって、平成25年度一般会計予算修正案に賛成、その他4特別会計には特に意見を付すことなく賛成する。

一般会計および特別会計予算総額

（単位：千円　%）

区分	平成25年度	平成24年度	増減率
一般会計	38,651,241	38,789,000	△0.4%
特別会計	25,582,013	24,714,702	3.5%
国民健康保険	12,979,842	12,707,649	2.1%
後期高齢者医療	2,301,194	2,199,623	4.6%
介護保険	7,100,075	6,561,116	8.2%
下水道事業	3,200,902	3,246,314	△1.4%
合計	64,233,254	63,503,702	1.1%

防災活動拠点として整備されました（＝滝山公園）